

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	(株)ばんばんPlug.		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日	～	R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 61名	(回答者数)	31名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 27日	～	R8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの安心感と通所意欲の高さ 「安心して通所している」「通所を楽しみにしている」が高評価 自由記述でも前向きな声が多い	プログラム内容はねらいも含め、子どもたちにとってどんな活動がイメージしやすいイラストや写真を用いて予定表を提示しています。また、来所時には送迎して下さる保護者の方にお子さまの様子を細かく確認させていただき職員同士が共有し上で支援の対応に反映しています。必要に応じてお子さまにはセルフモニタリングを行い自己理解の機会を設けています。	プログラムのねらいや具体的な内容のお伝えの他に、実際に取り組んでいる姿を視覚化する工夫が必要です。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の対応の丁寧さ・信頼関係保護者との意思疎通・相談対応が概ね良好 温かさや配慮への言及が見られる	多くの放デイから当事業所を選んでくださっていること、保護者の方が送迎して下さっていることに感謝して、送迎時には気持ちの良い挨拶をはじめ対話を大切にしています。お子さまの様子に加え、保護者様の表情から様子を汲みとり話しやすい雰囲気づくりに努めています。プログラムの内容だけに限らず学校や家庭での嬉しい報告や悩み事を共有することでリアルタイムで相談支援ができる場を提供しています。	引き続き利用して下さるお子さま、保護者様に寄り添いながら日々対話できる時間を大切にしたいです。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●支援計画の適切性・理解度 個別支援計画の作成・説明について一定の評価 支援内容への理解が概ね得られている	お子さまの特性、性格を中心に面談の時間では保護者様や家庭の近況にも注目し支援者よがりな計画とならないよう説明しています。支援内容は、アセスメント結果を基に保護者様に現状を共有し実際の本人の取り組みと一緒に確認したりと、視覚的に分かりやすいよう工夫しています。	お仕事をされている保護者様も多いため、計画説明の時間の確保が難しいケースもあります。その場合に送迎時に面談時間の確保ができるよう職員の動きを調整していきたいです。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●地域交流・外部との関わり 地域交流や他児童との関わり機会は評価が分かれる傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方のクラスに関しては環境面において難しさがある。 ・ハロウィン時の他事業所との交流イベントや午前クラスで事業所外の活動で公園へ行き地域の人との関わりもあったが、広報は行っていなかったため周知されにくいところがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのクラスに関しても地域交流、外部との関わりについて実際に行ったものを発信し知ってもらい工夫が必要となる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信の量・頻度 SNS・HP等の情報発信項目でやや評価が伸びにくい傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSに関しては、ほとんど情報発信ができなかった。 長期活動では、利用者様に実際の様子を添付し様子をお伝えするのみとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の見に関わらず、事業所を知ってもらい地域に根付いていく為にも情報発信を再開する。

3	<p>●家族支援・保護者交流の機会 家族支援プログラムや保護者交流は高評価とは言い難い</p>	<p>・今年度は茶話会の提供ができておらず、保護者様同士の交流の機会である横のつながりを作れなかった。 ・家族支援プログラムについては、保護者相談、家庭と事業所の連携として連絡帳やLINEを機に面談や電話相談を行い一緒に対応を考えることはできたが、子どもの理解を深める情報提供、ペアレントトレーニング等は足りていなかったと感じる。</p>	<p>・少人数での茶話会の実施。 (痾癢や起こったときの対応方法、宿題への関わり方など家庭で役立つ内容からテーマを決め、それを基にミニ勉強会と保護者同士の情報共有の場)</p>
---	---	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぼんぼんPlug.

公表日

令和8年3月12日

利用児童数

61名

回収数

31名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1	0	3	活動の様子を見ていないので判断できかねます / 活動ごとに仕切られていて、1人になりたい時のスペースも用意されていて良い。 / 体を動かせる場所があれば良いと思います	プラグの療育は週ごとにねらいを変えています。月に1回は運動プログラムを実施をさせていただいております。活動内容について保護者の方に伝わりやすい方法を検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1	0	1	いつも、個別での対応や、個々の意見の尊重などしっかりしてくださっていると感じています / 専門性の高い先生がたくさんおられて多方面から子どもの発達をみていると感じる	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	4	0	2	中の環境が見えない為あまりよくわからない / クールダウンできる場所もあり、部屋分けも分かりやすいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2	0	2	スペースが区分けされていて、非常に良い。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1	0	0	こちらの質問や困りごとなど、的確な返答で、日常にいかしやすい他、性格も踏まえたうえでアドバイスをいただけるので信頼している / 子供の特性、性格をよく理解してくれており、子供も楽しく通えています。 / ほとんどの先生が専門的な視点を持って対応してくれており、こどもの現状に合わせてアドバイス、対策をしてくれていると感じる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	0	クッキングでは本人の得意が伸ばされ、みとおしの苦手さなども工程表があるため落ち着いて取り組めているらしく、苦手も伸ばしてくれていると感じている。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	2	0	0	面談の要望がなかなか出せていないのでまたお願いします / 発達に合わせた計画がされており、無理に進めることもなく定着するまでじっくり取り組んでくれていると感じている / 利用年数が長いので私では分からない子供の苦手とする課題を把握して下さい、それに必要な支援をして下さっています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0		

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1	0	0	工作や調理実習、屋外活動など工夫されている / 長期休暇があると郊外学習に連れて行ってくれ、公共機関を利用したり施設を利用することは保護者と一緒に行くよりも刺激があるようでとても楽しみにしている。 / 毎回、新しい内容を、目的を持って取り組んでいて、とても為になっていると感じる。 / 成長に役立ついいプログラムを組んでくださり、ありがとうございます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	12	7	ばんばん内の友達と仲良く遊べているので特に交流はなくてもいいと思います。 / 事業所以外のこどもと一緒にいる機会はないと認識しています。 / ばんばんプラグ内でいろんな子と交流しているので十分。	プログラムを通しての発達支援や自分で買い物をするチカラ、外出をするチカラなど自立にむけた内容をメインとしている為、地域交流を進めていく方針は今のところありません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	4	4	1	兄妹との関わりに対してもアドバイスをいただき助かりました	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0	頑張りすぎないように通った日でも気分や体調が優れないようであれば、ゆっくりさせてくれているので、子どもも信頼して心身のことを相談できているように思う / その日の活動については細かく報告してくれる。療育利用時は日頃の様子も共有でき、こどもの成長した部分や課題などを専門的かつ客観的に教えてくれたが、放デイでは時間も短いためこちらから相談しにくい。 / 学校や家庭の問題等を話したら、よく聞いて助言をくださいます。	ばんばんの児童発達支援から移行された方にとっては利用時間やフィードバックが短くなってしまったという印象を受けられると思います。療育時間とのバランスを考えながらより、ご家族とお子様の成長を支えていけるようにしていきます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	1	0	熱心な先生は日頃の報告のついでに学校での様子を気にかけてくれ、状況に合わせてアドバイスしてくれるので助かる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0	自分の家族に相談しているような感覚になるときがあるくらいです。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	9	3	9		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	0	0	0	活動後に毎回、丁寧な報告をしてくださいます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	5	1	5	長期休みのお出かけ時に写真が送られてくるのをいつもとても楽しみにしています。毎回でなくたまにでもいいので帰りの際など日常の様子も動画や画像で見せていただけたら嬉しいです。	活動内容の報告についてはフィードバック時間だけでは不十分であると事業所では課題として捉えています。利用中の様子や新しい「できた！」を届けられるようにしていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	0	3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	0	2	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2	0	3	状況説明はあるけど、その後の具体的な策の説明等はいらないように思う。 / まだ事故が発生した事がない。 トラブルがあった際に報告については徹底をしていますが、その後の対応について報告ができていないことがあったこと申し訳ありません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0	先生に対して軽口をゆったり悪ぶった態度をとることもありますが、親しんでいると感じます。しぶしぶといった態度をとるときもありますが、それでも耳を傾けるので、関係性も理解していると感じます。反抗期と思春期が来ている様子もあり、送迎時に見るだけですかほほ笑ましく感じています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	1	いつも通所をととても楽しみにしています。 / 一ヶ月の予定表をもらっているの、疲れたなあという日でも、予定表をみて、あ！これ楽しそうと足がむかいます。逆にえー…という日もありますが、頑張っ通っています。 / 毎週楽しみにしています。 / 以前は楽しみにしていたが成長のためか友達が優先になり、行き渋るようになった。 / いつも喜んで通っているの、親としてはそこが一番嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0	お出かけを特に楽しみにしています。 / 懇談時の14時終わりの時は14時からの預かりにしていただけでしたが、ありがたかったなと言っておりましたが、もう卒業してしまうので後輩たちはできたらいいのかなと思いました。 / 楽しみながら身につく活動を組んでくださり、大変満足しています。

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ばんばんPlug,		公表日		令和8年 3月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	サブの役割の職員が柔軟に動いて記録の記入しています。 毎日職員の動きを可視化して共有、子どもの数と職員の人数的に厳しい時には個別ワークの内容や量を調整する等		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	コンディションによって臨機応変に対応できている。 活動時間を調整することで必要によって部屋の使用が可能だが、その日の人数や個別の入り具合による。 視覚物を提示して子どもが確認しやすいようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日頃から利用者についての見立てなどを交換、共有しています。 朝礼、昼礼では、職員自ら問題提起をしてもらい、すぐに答えが見つからないものは、期限を儲けて考える時間をとり全体で改善を目指しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間のコミュニケーションは取れている方かと思えます。普段のコミュニケーションの中から疑問を解決する話し合いをしています。 迷っていることややりたいことなどの相談を気軽に話しやすい環境を作っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間のコミュニケーションは取れている方かと思えます。普段のコミュニケーションの中から疑問を解決する話し合いをしています。 迷っていることややりたいことなどの相談を気軽に話しやすい環境を作っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	朝礼、昼礼を伝達事項のみとし、ただ、時間は定める。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	毎月、事業所の入口に掲示。連絡帳にも毎月挟んでいます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	どの職員も個別支援計画の作成にかかわることができており、意見を吸い上げてくださっていると感じます。アセスメントについては、主に個別相談に繋げられるものを開拓し、もう少し種類を揃えていければと考えています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	全員で確認しあっていることを反映させてもらっている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	必要に応じて評価ができています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ねらいから回し方、準備まで多くの職員が携わっていると思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	記録やアセスメントを反映させる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	翌日の朝礼で振り返っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	地域交流の機会は少ないと感じていますが、ニーズがあれば機会を設けていきたいと思っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	スケジュールや活動内容などある程度幅を持たせ、本人の意思を最大限尊重しようとしています。メモで可視化し、子どもが理解した上で自己選択自己決定できるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要なお子さんに関しては適宜、電話にて共有を行なっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	行事の際に利用者の帰宅時間などの予定がわからず、困ることがあります。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6		障害福祉サービスに移行した方が今までいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		センターではないが、外部機関から支援に関するスーパーバイザーに定期的に来ていただいている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		あまり機会がないので改善したい
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援記録に加えて、時間がある時は送迎時にその日の様子をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		あまり行えていないので、機会を設けたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	フィードバック時には、保護者から相談をいただけるよう雰囲気作りに努め、そこで出た課題は共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5		今年度は設けられませんでした。新年度は設けたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	翌日には共有し合い、返事が必要なものは、できるだけ早い返答をしめています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	長期期間の活動では、写真等を送ることで活動でのお子さんの姿をお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	言葉使いには互いに指導し合っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	ハロウィンでは、同じ建物の他事業所のお爺さんお婆さんにご協力をいただき一緒に触れ合う機会を設けている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		